

平成28年度第5回袖ヶ浦市公民館運営審議会

1 開催日時 平成29年2月24日 午後3時開会

2 開催場所 平岡公民館2階会議室

3 出席委員

委員長	稲毛 博夫	委員	田中 輝博
副委員長	長崎 容子	委員	齊藤 隆彦
副委員長	大野 俊江	委員	関 とし江
委員	小川 幸男	委員	根里 恵美子
委員	尾高 幹男	委員	片寄 礼子

3月末に

(欠席委員)

委員	早川 敦	委員	石井 智子
----	------	----	-------

4 出席職員

教育部長	井口 崇	長浦公民館副館長	中畑 浩治
生涯学習課長	原田 光雄	根形公民館館長	今井 裕文
市民会館館長	石渡 悟	根形公民館副館長	花澤 吉敬
市民会館副主幹	堀野 仁美	平岡公民館館長	若林 勲
平川公民館館長	小堀 正雄	平岡公民館副館長	大津 忠志
平川公民館副館長	勝畑 克子	平岡公民館主幹	大田 知司
長浦公民館館長	佐藤 紀文		

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	1人

6 議 題

- (1) 平成28年度市民会館・公民館事業の成果と課題について
- (2) 平成29年度市民会館・公民館の経営方針(案)について
- (3) その他

7 報 告

- (1) 平成29年成人式の実施状況について

(2) その他

8 議 事

議題(1) 平成28年度市民会館・公民館事業の成果と課題について

稲毛委員長

議題1、平成28年度市民会館・公民館事業の成果と課題について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に基づき、公民館事業の平成28年度市民会館・公民館事業の成果と課題について説明。)

稲毛委員長

ただいまの説明に関しまして、委員の皆様から質問がございましたらお願いします。

小川委員

平川、平岡、根形公民館において、公民館事業に参加したくとも、公民館までの交通手段が無いという方たちが、いるという問題を抱えているという説明があった。

そうした状況の中で地域の集会所等を利用して事業を実施することも検討するという意見も出されていたが、根形公民館が主催事業への参加者について、公用車を使って送迎をしているとのことだが、実際その成果はあるものなのか。

花澤根形公民館副館長

主催事業の際に、送迎に向かうと送迎予定時間に、乗車予定場所に参加者がいなかったりということもあり、効率は決してよくない。また公用車を使用して参加者を送迎すること自体も、適切ではないと感じているので、見直しをしたいと考えている。

小川委員

次年度は、交通手段の無い参加者の主催事業への参加促進は、他の方法を考えていきたいということか。

花澤根形公民館副館長

そのとおりである。

関委員

今、公用車による送迎の質問があったが、公用車に乗っている主催事業参加者の保険等の補償はあるのか。

花澤根形公民館副館長

公用車自体は保険に入っているものの、事故があった場合の主催事業参加者への直接の補償はない。そうしたことも踏まえて今後はやめざるを得ないのではないかと考えている。

勝畑平川公民館副館長

平川いきいきサポートの送迎サービスは、「NPO法人たけのこ」の事業なので、公用車の運用とは異なることを委員の方々にはご了承いただきたい。

大野副委員長

平岡公民館のシニアセミナーなどは、「平川いきいきサポート」の送迎サービスを使って参加している参加者もいる。こうしたサービスがあるということは、ありがたいことだと思っている。

大津平岡公民館副館長

「平川いきいきサポート」の利用については、月会費1,000円、利用した際のガソリン代実費を払うシステムである。

片寄委員

市民会館・公民館事業の成果と課題のまとめ方についてだか、内容を理解するのに苦労した。市民会館、各公民館ごとに成果と課題を記載するようになれば、資料がもっとわかりやすく、見やすくなると思う。そうすることで、会議資料15ページ以降の実施事業一覧と比較ができるようになり、理解しやすくなると思う。

田中委員

私も片寄委員の意見に同感である。会議資料の1ページから14ページにわたって、平成28年度事業の成果と課題として、(1)から(6)まで記載されているが、この表について基本的なことを教えてほしい。ここに記載されている目的とは、重点施策の目的という事か。

石渡市民会館館長

重点施策の目的である。平成28年度の経営方針に基づく重点施策を公民館主催事業ごとに記載させていただいている。つまり公民館で実施されている主催事業を6分野に分け、何に基づいて行われている事業なのかを、重点施策を

記載することで明確にし、その目的についても併記させていただいている。

田中委員

通常では、重点施策に基づいた事業が提示されて、それについての成果と課題が記載されるのではないのか。

石渡市民会館館長

以前は、重点施策に基づく事業を記載し、成果と課題をまとめていた。昨年度各館で各事業区分ごとに実施している事業があるということから、このような表記にした。さきほど資料の見易さ等のご意見をいただいたので、今後の資料作成について検討したい。

田中委員

資料1 ページの(1) 青少年教育推進事業の目的の中に「青少年期の課題を的確にとらえ、特色のある事業を展開します」と記載があるが、どのような課題を的確にとらえて事業を展開したのか、お聞きしたい。

石渡市民会館館長

現代の子どもたちは、自然体験、社会体験が不足していることが課題となっているため、各種事業での体験型学習を取り入れて実施している。

田中委員

それぞれの事業の課題の項目を見ると、「検討が必要である」、と記載があるが、課題があるということは次年度も実施していくということか。つまり次年度も同じ重点施策が記載されるのか。また同じ事業を繰り返し行うということか。

石渡市民会館館長

事業については、成果もあれば課題もある。各館で検討しながら、これを生かして、平成29年度の事業に反映をしていく予定である。今後2月から3月にかけて、職員と社会教育推進員が協議の場で検討していくこととなる。

田中委員

平成28年度で事業を終了するのではなく、成果のあった事業も継続するし、課題のあった事業も課題を検討し、改善をして実施するということか。

石渡市民会館館長

そのとおりである。

長崎副委員長

私も成果と課題は、公民館ごとにまとめ、わかりやすく記載をしてほしいという意見である。長浦の通学合宿については、教師が通学合宿中に現場を訪問するというサプライズがあり、大変良かった。来年度も継続してほしい。

また年頃の女子が参加する事業のため、これをサポートするスタッフにも女性職員の確保が必要と考えている。

佐藤長浦公民館館長

女性のスタッフの確保が重要であることは認識しているが、解決策が見つからないのが現状である。皆さんからも解決策があれば、是非お聞かせいただきたい。

大野副委員長

平岡公民館でも通学合宿を実施している。通学合宿では、女子の参加者の寝泊りする部屋の入口に、女性スタッフが寝るようにしている。女性スタッフの確保については、地区住民会議で解決策を模索すべきではないかと考える。

平岡公民館の昨年度の課題の中に、青少年事業の子ども教室については、参加者が少ないため、実施日程について考えていくということが書かれていた。事業の性格上、土日か夏休みの実施ということになると思うが、夏休みに実施という事であれば、各地区の放課後児童クラブへの声掛け、協力依頼をしてみてもどうか。

家庭教育学級については、どの地区でも参加者集めが難しいということが記載されている。5公民館合同のチラシの配布やホームページでの案内だけでなく、やはりキーとなる参加者（保護者）を見つけ、その方から口コミで広めてもらうのが一番だと考えている。

中富ふれあいの会主催のディキャンプでは、定員を超える参加申し込みがあったと説明があった。どんな募集の方法をしているのか聞かせてほしい。

スマホ安全教室など興味のあるものは、確実に参加者が集まると感じる。これから次年度の計画を作っていく中で、人の集まるテーマを考えることの重要性を感じた。ただし人が集まればよいという考えに偏重して、同じような事業の提供にならないようにしなければいけないと思う。

交通手段が無い等の理由から、主催事業に参加者が集まらないとの記載が目立つが、魅力のある事業には参加者は集まると思うので、職員の方には頑張って事業の企画をしてほしいと思う。また口コミで人を集めるということが、何より大事であると思う。

小堀平川公民館館長

デイキャンプについては、地区住民会議「中富ふれあいの会」の主催事業であるが、参加者を集める段取りは公民館職員が考えている。しかし実際子どもたちの事業への参加意欲を促すのは、他の事業も同様であるが、小学校の先生の協力が大変大きいと思う。また地域の各種団体の方が協力してくれていることも、子どもたちの参加意欲を高めていると思う。

関委員

私の孫も3年連続でデイキャンプに参加している。内容も含めて良いことだと思う。星空観察会も私は良い事業だと思うのだから、孫たちは興味がないようである。参加するように伝えていきたい。

根里委員

私も他の委員と同様に成果と課題については、公民館ごとにまとめてほしいと感じた。平岡公民館のサークル交流会への参加は特別養護老人ホームを含めた施設入所者でも観覧は可能なのか。

大津平岡公民館副館長

市内在住に限らず、市外であっても情報を聞いて観覧に来られた方は、どなたでも参加は可能です。

根里委員

平川公民館の子どもクラブの中で、以前は農村公園の農地を使って農業体験の講座をやっていたように記憶しているが、今は実施していないのか。

勝畑平川公民館副館長

現在、子どもクラブの中で農業体験は行っていない。小学校5年生の小学校事業として農業体験を実施している。このため公民館事業で実施する必要はないと感じている。

根里委員

農業体験のほかに、かかし作りもやっていたと記憶しているが、これも小学校事業の中で実施しているのか。

井口教育部長

かかし作りは、農林振興課と農村公園管理組合が主催で実施しているものです。

片寄委員

公民館地域連携推進事業について伺いたい。前回の公民館運営審議会でも説明を受けだが、この事業の中で実施される講座である高齢者講座、防災講座、サークル活用事業などは、内容的に他の事業で網羅されていると思うが、何が既存の事業と異なるのか。

花澤根形公民館副館長

根形公民館の炊き出し体験講座は新規事業ではなく、防災倉庫の備品を利用して炊き出し体験ができないか、という社会教育推進員の発想から出来上がった講座である。

石渡市民会館館長

今年度の地域連携推進事業については、新たに事業を計画するのではなく、炊き出し体験講座やパソコン講座など、既存の事業も活用しながら実施している状況である。

各公民館には社会教育主事という資格を持った職員が配置されています。公民館地域連携推進事業は、この職員が公民館と地域をつなぐコーディネーターとして、地域とのつながりを構築していくというものです。

地域連携推進事業の中の高齢者講座では、既存の高齢者事業と異なり、事業を公民館で実施するのではなく、地区の公園や集会所へ出かけて行って実施をするという取り組みをしています。

パソコン講座では、従前からパソコン事業は実施していましたが、そのほかに情報教育講座として、スマートフォンの安全利用教室を実施をしました。

防災講座も、子どもからお年寄りまで対象がありますが、まずは各公民館の社会教育推進員を対象に、5公民館合同で防災講座の実施を予定しています。

サークル活用事業では、今までサークルの方たちは自分たちの趣味としてサークル活動をしてきましたが、公民館事業の中で講師として自分たちの知識や技能を提供していただき、興味を持った方たちは会員として一緒に活動し、仲間の輪を広げていただくという考えからできた事業です。

井口教育部長

既存の事業も使いながら、サークル会員の協力、市役所内の各部署との協力関係も含め、地域との連携を強めていくという事業である。またこの事業を通じて公民館職員のコーディネーターとしての能力養成も狙いとして含まれている。

片寄委員

様々な分野を既存事業で網羅している中で、新しく公民館地域連携推進事業

に取り組むということは、職員にとって大変なことだと思う。公民館運営審議会委員として私たちも協力しなければいけないと感じている。

議題（２）平成２９年度市民会館・公民館の経営方針（案）について

稲毛委員長

議題２、平成２９年度市民会館・公民館の経営方針（案）について、事務局より説明をお願いします。

事務局

（資料に基づき、市民会館・公民館まつりについて説明。）

稲毛委員長

ただいまの説明に関しまして、委員の皆様から質問がございましたらお願いします。

尾高委員

施設の全部のトイレが洋式化されている公民館はあるのか。

石渡市民会館館長

市民会館は、大ホール棟と中ホール棟合わせて、男子トイレ７基のうち４基、女子トイレについては、１９基のうち５基を洋式に改修している。大ホールのトイレの改修率が低いので、吊天井の改修工事に合わせて、大ホールのトイレ改修を中心に実施予定である。

平川公民館については、男子トイレが７基のうち４基、女子トイレが１１基のうちの７基、富岡文館は改修を終了している。

長浦公民館については、男子トイレが５基のうち２基、女子トイレが７基のうち２基、根形公民館については、男子トイレ３基のうち２基、女子トイレが６基のうち２基、平岡公民館については、男子トイレが６基のうち４基、女子トイレが６基のうち４基の改修が終了している。

尾高委員

いずれにしても高齢化社会において、予算の関係もあると思うがトイレの洋式化も必要なことだと思うので、５公民館すべての洋式化をお願いしたい。

また、誰でも利用できるオープンスペースの開放ということで、ロビーや和室の解放を促進するということだが、公民館は地域の拠点なので、利用促進のためには良いことだと思う。是非お願いしたい。私も大いに利用させていただ

きたいと思う。

齊藤委員

放課後児童クラブの事業では、市民会館に大変お世話になっている。平成29年度の重点施策を見させていただくと、様々な事業が計画されている。

私たちの放課後児童クラブでも、公民館で何かあれば、協力させていただきたいと常日頃から思っているのだが、やはり放課後児童クラブでは、土日の事業出来るだけ実施をしないように努めている。但し土日に実施しているイベントがないわけではない。同じような事業を公民館で実施するようであれば、出来る限り協力して、公民館と一緒にできることは是非一緒に実施したいと考えている。

大野副委員長

各公民館事業について、お尋ねしたい。

- ①平川公民館のユースカフェですが、次年度は実施していくのか。また現在の経過を知りたい。
- ②市民会館の花咲け女性シェフ事業についてはどのような事業計画を立てているのか。
- ③根形公民館の施設利用促進の中で、和室解放の際の使用料はどうなっているのか。
- ④平川公民館の地域ふれあい事業の記載がないが、廃止となったのか。
- ⑤平川公民館の健康講座の記載がないが、廃止となったのか。
- ⑥「運営評価への取り組み」と書かれているが、どういうことか。各事業の成果と評価の関係を教えてほしい。

勝畑平川公民館副館長

まず、ユースカフェですが、今年度は5回の実施を予定している。最終回は3月に実施となる。20代から40代と公民館に馴染みのない世代が対象なので、参加者集めに苦慮している。毎回10名程度での実施となっているが、少しずつ事業を浸透させて、平成29年度も継続実施を予定している。

平成29年度は子どもクラブの中に、地域ふれあい事業を取り込んで実施を予定している。この事業の目的が世代間交流であるが、子どもクラブの事業の中に高齢者との交流世代間交流を達成できる内容を組み込むことで、目的は達成できるとの判断から、統合して実施予定である。

健康講座については、通年8回の実施していた事業であるが、女性セミナーの参加者とほとんど一緒のため、女性セミナーの中で健康講座の内容を含めて実施したり、他の事業の中で健康についての内容を組み込んで、実施予定である。

石渡市民会館館長

花咲け女性シェフについては、レストランの活用方法ということと、女性シェフを育てることを計画している。2月に社会教育推進員、料理サークル会員、高校の家庭科の先生、袖ヶ浦高校出身の女子大生、経済振興課のOB職員を集めて実行委員会を開催した。その中では、店を構えての実施は難しいという判断から、「ワンデイキッチン」という日替わりで複数の料理人が料理を提供する形はどうかという意見も出された。四街道市でもそうした事例があると聞いている。

講座内容については、2月に初心者向けのコーヒー講座の実施を予定している。来年度は実際に料理を作る講座内容に移っていきたいと考えている。

運営評価については、当該年度が終了した時点で評価を行い、平成29年度1回目の公民館運営審議会では報告をする予定である。

花澤根形公民館副館長

公民館施設利用促進ですが、オープンスペースとして和室を利用する場合は、使用料については減免という形をとります。場所を提供する際には、利用者に施設の管理をお願いするようにしないといけないと考えている。ここが検討課題でもある。

根形公民館の玄関入り口の丸テーブルの設置場所を、オープンスペースとして現在も解放しているが、ポスターを張るなど工夫をして、出会いふれあいの場にしたいと考えている。

田中委員

今年に入って2回ほど研修会に参加する機会をいただいた。先進地の発表や事例報告などを聞いて、感銘を受けた。

先進地事例で紹介された公民館運営は、行政から提供されたものをそのまま享受するのではなく、市民が公民館運営に参加し、行政は出来るだけ手を引くという感じであった。それが世の中の動きとすると袖ヶ浦市としては、公民館の運営についてどのように考えているのか。市民をどのように育成していくのか。

井口教育部長

今は、公的社会教育の意味はあると考えており、しっかりと行政が社会教育事業をやっていかないと考えている。市民が中心となって公民館を作っていくという考えは大事であり、社会の大きな動きである。

現在もそうであるが、これからはますます行政からの事業提供だけでは、公民館事業は成り立たないと思っている。社会教育推進員の活動もその一つであ

り、公民館運営審議会の存在意義についても前回会議でも取り上げられている。

先進事例というのがどこの自治体かはわからないが、コスト的な理由で指定管理者という制度も進んでいる傾向もあるが、指定管理者制度については、指定管理者制度を導入している周辺自治体の研究はしているが、すぐに移行ということは考えていない。

田中委員

指定管理者制度の話もあったので、平成29年度の市民のニーズに応じた市民会館・公民館づくりと記載されたのかと考えた。いままでの公民館とどこが変わって、何を充実させていこうとしているのかをお聞きしたい。また公民館運営審議会の充実と書かれているが、審議会委員の役割も変わってくるものなのか。運営評価の取り組みについても、審議会委員がやるべきなのかも考えている。

石渡市民会館館長

公民館運営審議会をどのように充実させていくのかという話ですが、審議会の会議の場で、委員の方々に様々な意見を出してもらい、そして審議し、公民館事業に反映させていくということだと考えている。

田中委員

職員と各審議会委員との間で議題についてやりとりをしているというのが、私の公民館運営審議会のイメージである。審議会の前に審議会委員のみで議題について協議し、共通認識を持ったうえで、行政と話をした方がさらによくなると考えているので、意見を言わせていただいた。今のままだと審議会の意見は弱いと感じている。

井口教育部長

審議会に対して行政側から、研究してほしいテーマを投げかける場合もある。それを検討、研究した結果を持ち寄っていただくという形に移行をしている審議会もあると聞いている。今の意見は大変建設的な意見だと思う。

根里委員

今の考え方は公民館運営審議会の本来あるべき姿だと思う。しかし審議会委員が公民館の運営評価をするためには、運営委員が公民館事業のすべてを知らないとは評価できないと思う。我々にも勉強の時間が必要である。

田中委員

事業のすべてを知る必要はないし、私たちが見てわかりやすい会議資料なら

ば、実現不可能ではないと思う。細かいところまではチェックできないが、基本的なことが守られているかとか、全体的な方向性という形であれば、審議の中で勉強できると思う。

少し気になったのが、成果と課題の記載の中で、6ページにある「ごみ」の標記についてだか、カタカナ表記となっている。環境省、市の廃棄物対策課でも表記はひらがなである。「ごみ」という言葉は日本古来の標記なので、ごみが正しいのではないのか。袖ヶ浦市では標記の使い分けをしているのか、調べてほしい。

石渡市民会館館長

了解した。

稲毛委員長

議題3、その他について、事務局より説明をお願いします。

事務局

事務局からは特にございませぬ。

9 報 告

- (1) 平成29年袖ヶ浦市成人式の実施結果について
- (2) その他

稲毛委員長

報告(1)、平成29年袖ヶ浦市成人式の実施結果について、事務局より説明をお願いします。

事務局

資料に基づき、平成29年袖ヶ浦市成人式の実施結果について勝畑平川公民館副館長より、今井根形公民館館長より、新聞記事について説明。

稲毛委員長

ただいまの説明に関しまして、委員の皆様から質問がございましたらお願いします。

関委員

成人式は自分の息子が20年ほど前に成人したので、公民館運営審議会委員として20年ぶりに出席した。保護者席があることにびっくりした。自分の子どもの記念写真を撮るなどの親御さんたちの行動は、私たちの世代には、驚き

であった。

ほかに質疑がないようですので、報告（１）についてはこれで終わらせていただきます。

次に報告（２）その他ですが何かございますか。

事務局（石渡市民会館館長）

本来は皆さんの意見を聞かなければならないところであるが、１月２０日に君津地方公民館連絡協議会と君津地方公民館運営審議会連絡協議会の合同研修会が市民会館で実施された。２月１５日には、君津地方公民館連絡協議会館長部会と君津地方公民館運営審議会連絡協議会の連合の合同視察研修会で、さわやか県民プラザに視察に行っていました。本来は事細かく報告すべきところですが、この様子については、３月末に君津地方公民館運営審議会連絡協議会だより及び会報に掲載されるので、ご確認いただきたい。千葉県公民館研究大会については、長崎副委員長が内容をまとめて掲載されているのでご確認いただきたい。

事務局（堀野）

平成２９年度の第１回公民館運営審議会が、５月１２日金曜日午後３時より、市民会館で開催予定ですので報告します。

稲毛委員長

慎重審議ありがとうございました。

議題もこれで終わりました。本日はありがとうございました。

９ 閉会のことば

午後５時３５分閉会